

令和7年度 城北高等学校 第2回学校運営協議会 概要

令和7年11月19日（水）18時30分～

於：校長室

出席者（委員） 敬称略

市岡沙織（市岡製菓株式会社 代表取締役社長）
瀬畠俊夫（本校PTA会長）
多田穰治（アール・エスホーム株式会社代表取締役社長）
寺澤昌子（本校 校長）
藤本真路（徳島大学 理事・副学長）
美馬持仁（鳴門教育大学 理事・副学長）
<欠席>
山崎眞弘（千松小学校 校長）
大栗一敏（徳島市城西中学校 校長）

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）校長挨拶

（4）協議

①令和7年度の取組状況について

○6月以降の主な行事等

昨年度と変更のあった行事を中心に報告した。

- ・理数科学科1年次：関西方面へ1泊2日の県外研修（神戸大学・理科学研究所・SPring-8等）
- ・オープンスクール：午後実施で中学生の参加者数増加
- ・人権集会・PTAいきいきセミナー（水谷修氏講演）

○国際交流

- ・韓国アンサンガンソ高校との交流（7月）
- ・ドイツ姉妹校リーゼ・マイトナー・ギムナギウムから6名の高校生来校（9月）
10日間の交流

来年3月、本校から6名の生徒がドイツ姉妹校へ（10年ぶりに再開）

- ・修学旅行計画：韓国コース（5月9日～12日）と北海道コースの選択制
韓国交流校訪問を組み込み、費用面で工夫（通訳不要・現地協力）

○DXハイスクール推進事業

- ・取組概要と教育長視察の報告
ICT機器導入（ドローン、3Dプリンター、電子顕微鏡、ハイスペックPC）
探究活動の高度化とデジタル人材育成を目指して
委員より→AI活用教育の課題：適切な利用指導、思考力低下防止

○45分授業実施に向けた準備

- ・令和8年度から導入予定
- ・授業時間短縮で「為せば成るタイム」を創設
- ・中学校説明会で好感触、2月に試行予定

○部活動等の入賞記録（報告）

- ・剣道部：県総体団体・個人優勝、インターハイ出場
- ・水泳：1年生女子が県総体優勝、四国大会・インターハイ出場
- ・吹奏楽部：県大会銀賞
- ・陸上競技部：新人大会で複数種目優勝
- ・文化活動：高文祭ポスター最優秀賞、写真部優秀賞（全国出品予定）

②意見交換・提言「本校のさらなる特色化・魅力化」について

○45分授業について

- ・スタートして1、2年は5分短くなった喜びからうまくいくはず。その後でこ入れが大事。
理念を継かせるために、入学時にすり込んでいく。

○国際交流について

- ・外に目を向けること大事。
- ・トビタテ！留学 Japan の県版をもっと利用してほしい。徳島を知って、外国に行くことが大事。

○「為せば成る」精神の継承と広報強化

- ・「為せば成る」をよく使っているが、なぜそうなったのかを1年入学時に知ってほしい。

○学校の歴史・理念を入学時に周知→他校にはないスクールカラーを前面に

- ・校歌の意味づけや込められた期待をわかってほしい。
- ・ホームカミングデイなどOBの力を借りてカラーを出していく。

○文化部活性化の提案

- ・芸術系を伸ばす。
- ・部活動は学校が残っていく上で大事。
- ・ホームページにQRコードを貼って動画など見られる工夫も

○海外体験・探究活動を魅力化の柱に

（5）その他（事務連絡）

○次回（第3回）開催予定について

開催時期：令和8年2月～3月中旬。年内に日程調整メール送付予定。

（6）閉会